

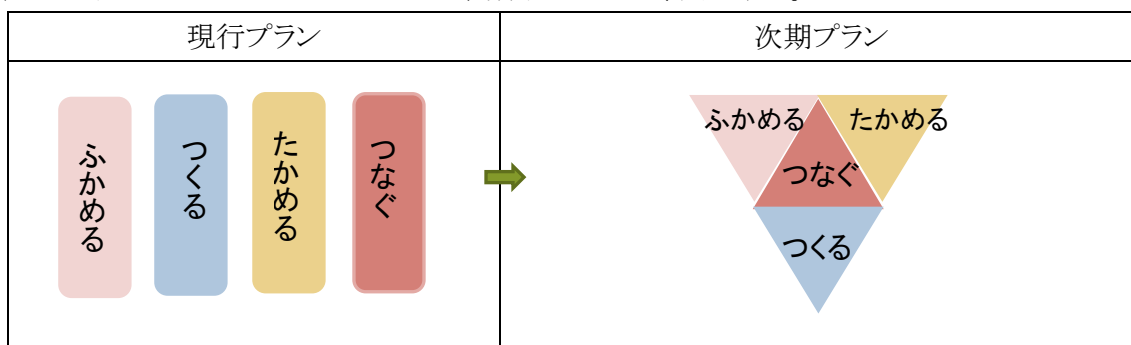
## 次期プラン策定のポイント

### 1 分かりやすさ、伝わりやすさを重視する

- (1) 四つのテーマについて、その意味・内容を再定義することで、各施策(具体的取組)を通して、「どのような状態を達成するのか・目指すのか」を、より明確する。

現行プラン	次期プラン
「…相互理解を深めます」	➡ 「相互理解を深めることで～～を目指します」

- (2) 並列的に示していた四つのテーマの関係性を整理し、図示する。



- (3) 四つのテーマそれぞれに、子どもの目線を取り入れたキャッチフレーズ的な言葉を添えることで、次期プランに関わる全ての人が、共通の目標イメージを持ちやすくする。

現行プラン	次期プラン
「たかめる」	➡ たかめる 「授業が分かる！学ぶって楽しい！」

### 2 社会や国の動向、本市の教育施策のキーワードを取り入れる

現行プラン策定後も、社会・教育情勢は絶えず変化していることから、その変化に対応した考え方を反映させたプランにする。

#### (1) 社会環境の変化

SDGs／新しい生活・行動様式／生涯学習など

#### (2) 国の動向

新学習指導要領／個別最適な学び／GIGA スクール構想 (ICT)／医療的ケア児支援法など

#### (3) 本市の教育施策(教育構想 2021・杜の都の学校教育)

たくましさとしなやかさ／多様性／学びの循環／仙台自分づくり教育／

横の連携の充実とライフステージに応じた切れ目のない支援など

### 3 上記1と2を踏まえ、施策(具体的取組)全体を再編する

現行プランの枠組みを極力残しつつ、再定義した四つのテーマと各施策(具体的取組)との関連がより明確になるように、現行プランの施策全体を整理・統合し、精選化を図る。